

令和 2 年 4 月 28 日

バーコードスキャナソフトウェア SCANDIT を 4 月より販売開始 プロ仕様の高い読取性能、文字読取と拡張現実にも対応

自動認識システム開発のアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、スイス Scandit AG 社のバーコードスキャナソフトウェア SCANDIT を 4 月より販売開始します。SCANDIT は、スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスで、バーコードや英数字フォントの読取と、拡張現実 (AR) の利用を可能にするソフトウェアです。iOS、Android、Windows OS に対応し、エントリーレベルから業務用まで多くのデバイスをサポートしています。

SCANDIT は、お手持ちのスマートフォンやタブレットを高性能のバーコードスキャナとして利用できるソフトウェアです。毎分 480 スキャンの高速読取や遠く離れた場所からの長距離読取、あらゆる角度や、薄暗い環境下での読取、液晶画面の読取、ダイレクトマーキングの読取など、その読取性能はプロ仕様のレベルに達しています。読取シンボルは JAN コード、GS1-128、GS1-Databar、QR コードなど、汎用的なシンボルのすべてに対応しています。

また、OCR、MatrixScan、AR といった高度なオプション機能も用意しています。OCR 機能は、OCR-A/B フォントの他に英数字フォントにも対応しています。フォントの種類やサイズ、色に関わらずに読み取ることができるほか、複数行の一括読取も可能です。そのため、パスポート読取、身分証明書読取、賞味期限読取、ロット番号読取などに適しています。

MatrixScan 機能は、連続的に複数のバーコードを検索、追跡し、視覚的なフィードバックを付加することができる機能です。スマートデバイスをバーコードの上にかざすだけで、全体を 1 つのシーケンスで読取できますので、入出荷や棚卸、マルチバーコードラベルの一括読取などを簡単に行うことができます。また、商品の検索や混入のチェックなども可能です。

AR 拡張現実機能では、デバイス画面上にデジタル情報を追加することができます。例えば、商品バーコードからその商品のレビューや在庫数を表示したり、航空機の搭乗券の QR コードから乗客の情報を表示したり、賞味期限のテキストから出荷停止の警告を表示するなど、様々な用途に利用可能です。さらに、MatrixScan と組み合わせて、複数のバーコードの中から特定のものを強調表示させることにより、商品検索が容易になります。

バーコードスキャナソフトウェア SCANDIT の開発ライセンス SDK は、1 ヶ月間無償で提供され、必要に応じて延長することも可能です。開発したアプリケーションは使用許諾契約を締結することで、ユーザーのデバイスやサーバで使用することができます。使用許諾はサブスクリプションの年間契約で、基本契約期間は 2 年間です。サブスクリプション価格は、商品、機能、用途、デバイス数、想定スキャン数、サポートレベルなどの情報を考慮してお見積りします。初年度 10 件の契約を計画しています。



SCANDIT MatrixScan



SCANDIT OCR



SCANDIT AR